

イキイキふかや・よりのい

特集 ACP・人生会議

令和2年11月1日発行
深谷寄居医師会広報誌

人生の最期を決めておきませんか？



「私のねがい」
記入ノート付き!

命の危険が迫った状態になると70%の方が自分の思いや希望を伝えることはできないといわれています。ではそうなった時に誰があなたについて決定するのでしょうか？

あなたの思いを知らないと、周囲の人も戸惑い悩みます。「これで良かったのか…、本人はどう思っていたのか…」と後悔することも。残された家族はあ

なたの希望を叶えることができそうですか？

もしもの時に備えて、受けたい医療やケアについて、あなたの希望や思いを家族や大切な人、かかりつけ医を始めとした医療関係者や介護・ケアにかかわる人達と話し合っておくこと、それがACP・人生会議なのです。

ACP・人生会議のすすめ!

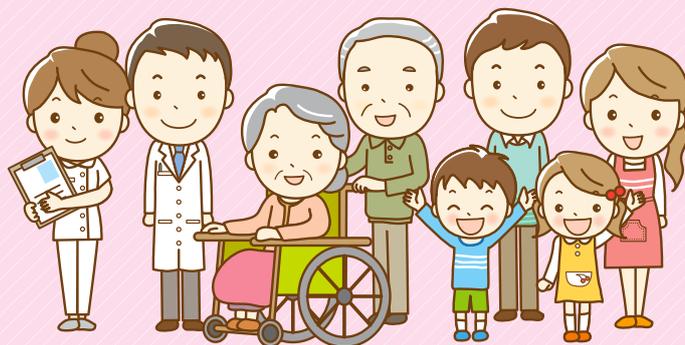
『人生の最終段階では、どのように終わりを迎えたいかについて70%の人が意思表示できないと言われていました。

つまり、事前に意思を周囲の人に伝えておくことが大事で、これが「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)=事前ケア計画」や「人生会議」なのです。

信頼できる人達との会話で、大切にしていることや望んでいることを伝えたり、どこでどのような医療・ケアを望むかを話し合ったりして、意思表示ができなくなったときのために備えていきましょう。

今は決められないことであっても、信頼できる人と話をすると自分の気持ちが整理されてはつきりとしてきます。

信頼できる人を見つけ、心の声を口に出してみましょう。』



(深谷寄居医師会 地域包括ケアシステム委員会では、ACP・人生会議の普及に取り組んでいます。)

人生会議についてくわしく知りたい人は厚生労働省のHPから で検索

例)小藪千豊さん(吉本興業・タレント) ~厚生労働省HPより~

「母親は50代で亡くなったが、その時に、『こんなに身近にいた人ともう二度と話せなくなるのか』とやるせない気持ちになったことを覚えています。もしこれから家族が亡くなるとしたら本人の希望通りに看取りたいし、その後のことについても意思を知っておきたいと思います。正月やお盆など、一年の節目で人生会議が出来たら良いのではないのでしょうか。自分の希望について、事前に家族と話し合っておけば、自分のように、あの時間聞いておけばよかったと後悔することも無くなるのではないかと思います。」



厚生労働省はACP(アドバンス・ケア・プランニング)がより馴染みやすい言葉となるように、2018年11月30日に「人生会議」という愛称で呼ぶことを決めました。

ちなみに、11月30日は「いい看取り」の日です。



人生会議のロゴマーク

ACP・人生会議の進め方

人生の最期を考えることは、決して縁起でもない事ではありません。

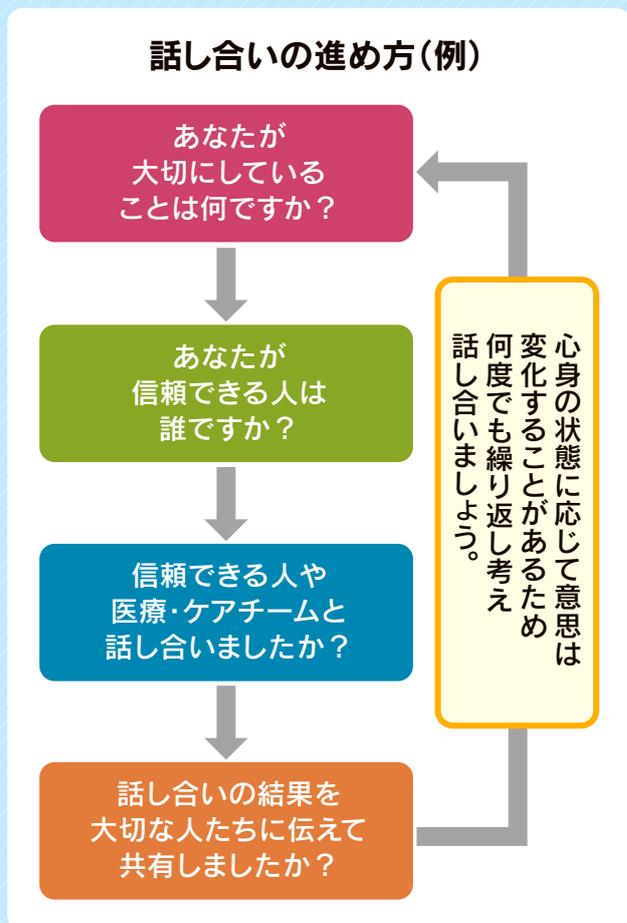
人生のゴールを思えば、今からできることを考え、今日を大切に生きることにつながることでしょう。付録の『私のねがいノート』で自分の気持ちを見つめる事から人生会議をはじめてみましょう！

こんなときのことでも考えてみましょう

- 病気や後遺症でリハビリを続けてきたが、やがて歩けなくなりいよいよ自分で食事をとることができなくなった。体力の回復の見込みも少ない状態となった時、あなたは胃瘻や鼻からのチューブ栄養などの人工栄養を希望しますか？
- 癌を患い、これ以上治療の効果は見込めないと医師から告げられた時、あなたは残された時間をどこで・誰と・どのように過ごしたいですか？
- 住み慣れた自宅で暮らしてきたが、老衰によりしだいに体力が低下。もしも状態が急変した時、あなたは救急車で病院に運んで欲しいですか？
- がんの終末期など治る見込みのない状態で高度な延命治療を行った時、高額な医療費が残された家族の負担になってしまうかも…

この答えに正解はありません。
あなたはどのように考え、何を希望するのか…
今後を考えるきっかけにしてみてください。

話し合いの進め方(例)



❏ おわりに

「人間の死亡率は100%!」「生あるものはいつか死ぬ」ということをわかってはいると思いますが、元気な時は実感がなく、漠然としたイメージとして感じていると思います。しかし死は誰にも必ず訪れます。

明日何が起こるかもわからないこの頃です。若く、元気な方でもいつ何が起こるかわからないのであれば、最期をどう過ごすか…

若い人にもACP・人生会議をおすすめします。あなたの大切な人と話をしてみませんか？



～在宅医在宅療や看取りの相談～

深谷寄居在宅医療連携室

「深谷寄居在宅医療連携室」は、チームで支える在宅医療をサポートします！



深谷寄居在宅医療連携室は、休日診療所こども夜間診療所（深谷寄居医師会館）の2階です。

看護師とケアマネジャーの資格を持つ、コーディネーターが相談を受け、在宅医療と介護をつなぎます！

こんなことでお困りの場合は・・・

- * 在宅に往診してくれる医師を探したい
- * 在宅看取りをしてくれる医師を探したい
- * 訪問看護を受けたい
- * 在宅から一時的に入院できる病院を探したい
- * ケアマネからの医療に関する相談

深谷寄居在宅医療連携室

電話：048-501-5951

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

住所：深谷市国済寺319-3深谷寄居医師会館2階

患者さんのご質問やご意見募集

深谷寄居医師会広報委員会では患者さんからの医療に関する質問やご意見を随時募集しております。かかりつけ医師にお話しいただくか、医師会事務局まで電話かFAXをして下さい。本広報誌に可能な限り答えと共に掲載させていただきますが、掲載の採否は当委員会にお任せ下さい。掲載分には粗品を進呈させていただきます。

医師会事務局 電話 048-573-7724 FAX 048-573-0948



深谷寄居医師会

イキイカかや・よりい 第17号

令和2年11月1日発行

発行：深谷寄居医師会 広報委員会

〒366-0033 深谷市国済寺319-3

☎048-573-7724

ホームページ <https://fukaya-osato.saitama.med.or.jp/>

